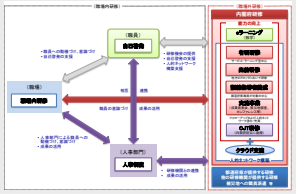
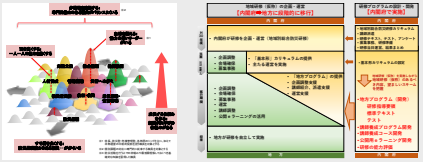
平成25年度以降のeラーニングに関する検討の流れ

資料3-1

● 平成25年度以降の企画検討会におけるeラーニングに関する検討の流れは下記の通りである。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
研修等の体系	 「防災スペシャリスト」育成体系に、**独学での能力向上の場**として**eラーニングを位置づけた**。					 防災スペシャリスト養成の今後の研修の改善の方向に**eラーニングを公開し、広く多くの人の能力向上を図ること**が挙げられた。 また、令和元年からの地域研修の仕組みのなかで、**地域の負担を減らし、地域が自立して研修を行えるよう、公開用eラーニングの活用を設定した。**
eラーニング公開用	**基礎的な知識**について、**どこでも自ら学習できる**ように、**学ぶ機会の増大に資するeラーニングを整備**することが次年度以降の検討項目として挙げられた。	eラーニングの目的を次の2つとし、**段階的に整備を進める**こととした。 **①有明の丘研修の受講資格を取得する** **②関連付けられた知識を身につける**	平成27年度は、主にeラーニングの**コンテンツの検討**を行った。 平成28年度は、**クイズ（テスト）の効果的な実施を検討し**、テストを収集・作成してテストバッテリーとして今後蓄積することとした。			**令和元年度以降の対応方針** ①公開用eラーニング実施にあたっての課題の検討 ②地域研修の「研修指導要領」や「標準テキスト」を整備し、公開用eラーニングに反映
「事前学習」eラーニング有明の丘研修				平成28年度は、eラーニング用に作成したテストを利用し、研修効果を高めることを目的に、研修で学ぶ基礎的な知識について確認するための「事前学習」をメールにて実施。 平成29年・平成30年度のLMSを利用したeラーニングの試行を経て、現在も継続してeラーニング「事前学習」を実施中。		